

## 平成30年度 環境部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
環境部長 松尾 秀明	<p><b>●使命</b> 私たち環境部は、総合計画に掲げる「人と地球にやさしい環境に配慮した美しいまち」実現のため、市民、事業者と行政の協働による、ごみ減量化の推進と、人と地球にやさしい環境負荷の少ない循環型社会を目指します。あわせて、生活関係施設整備（新火葬場整備）を推進していきます。</p> <p><b>●基本方針</b></p> <p>① 市営火葬場の適切な維持管理に努めるとともに、新火葬場の整備を推進します。</p> <p>② 地球温暖化防止対策を推進します。</p> <p>③ 可燃ごみ30%の減量を目指します。</p> <p>④ 消費生活センターの充実を図り、消費者被害の防止に努めます。</p> <p>⑤ 環境保全対策を推進します。</p>	所管課	環境政策推進室、生活環境課、クリーンセンターかもめ、長船衛生センター、長船クリーンセンター		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			15人	16人	31人
		一般会計	1,170,272 千円		
		特別会計	千円		
		計	1,170,272 千円		
	(うち人件費)	(104,640 千円)			

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	市営火葬場の適切な管理運営と新火葬場整備の推進	市営火葬場は、適切な管理運営により火葬利用に支障が出ないように努めます。	市営火葬場は、支障なく利用されています。	市営火葬場は支障なく運営できています。	市営火葬場は火葬利用に支障はなく運営できました。
	新火葬場の整備について、地元関係者との協議を進めるとともに、地権者に交渉し、事業用地の取得を進めます。また、岡山市との広域整備にかかる基本協定の締結を目指します。	地元関係者、地権者に丁寧に説明したうえで事業用地の取得を進めます。	7月に地権者説明会を開催するとともに、境界立会を実施しました。	10月に地権者説明会を開催したのち個別交渉で半数以上の土地売買契約を締結しています。	地権者への個別交渉により年度末で半数以上の事業用地が取得できました。
		岡山市と協議を行い、広域整備にかかる基本協定の締結を目指します。	岡山市と連携手法などについて協議しています。	岡山市とは情報共有に努めたうえで連携手法などを協議中です。	年度内で岡山市との基本協定は整わなかったため、来年度以降も協議を継続します。

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	地球温暖化防止対策の推進	地球温暖化対策計画（平成28年5月13日閣議決定）に基づき、温室効果ガス排出量を2030年度に2013年度比26%削減を目指して、各種施策を推進します。	<p>公共施設等先進的CO2排出削減対策モデル事業により、牛窓3小学校・裳掛小学校、長船学校給食調理場、中央公民館、牛窓支所・牛窓町公民館・市立美術館、長船刀剣博物館、ゆめトピア長船の省エネ改修の実施、邑久地域に太陽光発電設備を整備し、公共施設からの二酸化炭素の排出量を年間227 t-CO2削減します。</p> <p>市民へのアンケート調査や策定委員会での審議を踏まえ、地球温暖化対策実行計画を策定します。</p>	<p>上半期で中央公民館、牛窓東小学校、牛窓西小学校、牛窓北小学校、裳掛小学校及び長船学校給食調理場の省エネ改修を完了しました。</p> <p>地球温暖化対策実行計画（事務事業編）策定支援業務を発注し、現在、計画を策定中です。</p>	<p>下半期でゆめトピア長船、備前長船刀剣博物館の省エネ改修を完了しました。牛窓支所・牛窓町公民館・市立美術館の省エネ改修、邑久地域太陽光発電設備の整備に着手しました。</p> <p>地球温暖化対策実行計画（事務事業編）策定支援業務の第1回庁内委員会を開催し職員向けアンケート調査を実施しました。</p>	<p>牛窓支所・牛窓町公民館・市立美術館の省エネ改修、邑久地域太陽光発電設備は2月末に完了し、今年度に予定していた省エネ改修工事等はすべて完了しました。</p> <p>第2回庁内委員会での審議を踏まえ地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を策定しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況																								
3	<p>可燃ごみの減量施策の推進</p> <p>プラスチック製容器包装の分別適正化の推進を図ります。ごみ減量化と人的負担の軽減を図るため、出前講座、広報紙などを通して啓発を行い、プラと対象外プラ商品との分別徹底を図ります。</p> <p>生ごみの減量化、減容化の推進を行います。可燃ごみの減量化対策として既に多品目分別による資源化施策を行っている。残る生ごみ処理についても微生物資材等を活用した生ごみ処理事業の推進により、可燃ごみの減量化を推進します。</p>	<p>ごみ減量率は、平成30年度末で17%を目指します。</p> <p>ごみ減量率の実績</p> <table border="1" data-bbox="862 268 1279 603"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>全体</th> <th>家庭系可燃ごみ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23年度</td> <td>4.0%</td> <td>4.2%</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>8.4%</td> <td>6.9%</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>10.7%</td> <td>9.2%</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td>13.8%</td> <td>14.6%</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>14.6%</td> <td>13.9%</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>16.0%</td> <td>15.5%</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>16.1%</td> <td>14.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>生ごみ処理機購入補助事業の促進を行います。 目標35件（H29年度実績31件）</p> <p>生ごみ処理機「キエーロ」の市民モニターを募集します。 目標50名（H29年度実績45名）</p> <p>ごみ分別徹底のため集積所利用マニュアルを作製します。</p>	年度	全体	家庭系可燃ごみ	23年度	4.0%	4.2%	24年度	8.4%	6.9%	25年度	10.7%	9.2%	26年度	13.8%	14.6%	27年度	14.6%	13.9%	28年度	16.0%	15.5%	29年度	16.1%	14.7%	<p>ごみの減量率は、次のとおりです。</p> <p>4月末 13.0% 5月末 12.9% 6月末 14.1% 7月末 12.9% 8月末 12.9% 9月末 14.4% 参考：H29.9月末 13.4%</p> <p>ごみ減量に関する出前講座を3回実施しました。</p> <p>生ごみ処理機購入補助金は、11件の申請がありました。</p> <p>「キエーロ」は、40名の方に、市民モニターをお願いしています。</p> <p>現在、「見やすい利用マニュアル」の検討を行っています。</p>	<p>ごみの減量率は、次のとおりです。</p> <p>10月末 14.4% 11月末 14.6% 12月末 15.3% 1月末 15.2% 参考：H30.1月末 14.8%</p> <p>ごみ減量に関する出前講座を5回実施しました。</p> <p>生ごみ処理機購入補助金は、15件の申請がありました。</p> <p>11月に「キエーロ」のモニター（33名）を対象にキエーロの使用方法和併せて分別についての説明会を実施しました。1月末現在、「キエーロ」は73名の方に、市民モニターをお願いしています。</p> <p>家庭ごみ分別マニュアルの改訂版を製作しました。</p>	<p>ごみの減量率は、次のとおりです。</p> <p>2月末 15.7% 3月末 16.1%</p> <p>30年度の減量率は前年度と同じく16.1%でした。</p> <p>ごみ減量に関する出前講座を年間10回実施しました。</p> <p>生ごみ処理機購入補助金は、年間で17件の申請がありました。</p> <p>2月に「キエーロ」のモニター（33名）を対象に利用状況調査を行い、結果を集計しました。調査結果をホームページで公表おこないます。</p> <p>家庭ごみ分別マニュアルの改訂版を製作し窓口で配布しています。</p>
年度	全体	家庭系可燃ごみ																											
23年度	4.0%	4.2%																											
24年度	8.4%	6.9%																											
25年度	10.7%	9.2%																											
26年度	13.8%	14.6%																											
27年度	14.6%	13.9%																											
28年度	16.0%	15.5%																											
29年度	16.1%	14.7%																											

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	<p>消費者被害の防止</p> <p>瀬戸内市消費生活センターの認知度を向上させます。</p> <p>被害の防止と解決に資する機関として機能の充実に努めます。</p> <p>被害に遭わないための消費者知識を身に付けるため消費者教育を推進します。また、被害に遭いやすい高齢者を見守る人たちへの啓発活動を行い、被害防止や被害の早期発見を目指します。</p>	<p>公共施設等で巡回啓発パネル展示を実施し認知度の向上を図ります。</p> <p>目標 巡回パネル展4回</p> <p>市民図書館に消費者教育コーナーを設置し関連図書並びにパンフレットを配置し消費者教育に関する図書の紹介、貸出を行います。</p> <p>広報紙、出前講座などを通して相談事例や被害に遭わないためのアドバイス、消費生活の豆知識の紹介をします。</p> <p>民生委員、地域包括支援センター、介護事業所など高齢者を見守る役割を担う方々への啓発活動を行います。</p> <p>目標 出前講座10回</p>	<p>牛窓支所、ゆめトピア長船、長船町公民館及び福祉センターで巡回パネル展を開催しました。</p> <p>5月11日～30日まで市民図書館において、消費者教育コーナーを設置しました。</p> <p>広報せとうちに「消費生活安心ほっとライフ」を5回掲載するとともに、各地区に出向き、出前講座を9回開催しました。</p> <p>民生児童委員会定例会に出席し、啓発や連携をお願いしました。</p> <p>9月末の相談件数は、160件となっています。</p> <p>参考：H29.9月末 76件</p>	<p>4月～1月末までに、公共施設等で巡回パネル展示を5回開催しました。</p> <p>本庁ロビーにて、被害に遭わないための啓発用のパンフを配置し、DVDを上映しています。</p> <p>広報せとうち掲載 4月号～1月号までに計8回掲載しました。出前講座 4月～1月末までに、各地区へ出向き出前講座を16回開催しました。</p> <p>1月に、各地区の民生児童委員定例会に出席し、啓発や連携をお願いしました。</p> <p>1月末の相談件数は、232件となっています。</p> <p>参考：H30.1月末 168件</p>	<p>3月末までに、公共施設等で巡回パネル展示を年間5回開催しました。</p> <p>本庁ロビーにて、被害に遭わないための啓発用のパンフを配置し、窓口モニターで啓発用DVDを上映しています。</p> <p>広報せとうち掲載 4月号～3月号までに計10回掲載しました。出前講座 3月末までに、各地区へ出向き出前講座を年間17回開催しました。</p> <p>2月に、ふれあいサロン代表者会議に出席し、啓発や連携をお願いしました。</p> <p>○相談件数 3月末現在 275件</p> <p>参考 H30.3 241件</p>

	重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
5	生活環境の保全	<p>瀬戸内市の生活環境保全のため、市民及び事業者に対する啓発活動を充実します。</p> <p>市民からの相談や、被害等が発生した時は、迅速な対応を目指します。</p> <p>河川の水質保全に向けて、下水道計画区域外における合併処理浄化槽の整備を推進します。</p>	<p>広報紙に啓発記事を定期的に掲載するとともに、市ホームページを見直し、啓発活動の強化を図ります。</p> <p>関係機関との共催により、「環境フェスタ in せとうち」を開催します。 目標参加人数： 350 人</p> <p>岡山三川水質汚濁防止連絡協議会等が主催する合同研修会に参加して職員の対応スキルの向上を目指します。</p> <p>114 基の合併処理浄化槽の設置を目指します。</p>	<p>広報せとうち6月号に、水質事故防止の記事を掲載しました。</p> <p>6月10日に「環境フェスタ in せとうち」を開催し、350人以上の参加がありました。</p> <p>合同研修会は、西日本豪雨災害の影響で中止になりました。</p> <p>現在、69基の補助金交付決定を行っており、その内22基が完了しています。</p>	<p>広報せとうち11月号に、野外焼却禁止の記事、2月号に犬のふん放置禁止の記事を掲載しました。</p> <p>1月末で93基の補助金交付決定を行っており、その内56基が完了しています。</p>	<p>広報せとうちに、水質事故防止や野外焼却禁止、犬のふん放置禁止を掲載し、啓発活動の強化を図りました。</p> <p>環境フェスタ in せとうち」を開催し、参加者が350人以上あり、目標参加人数を超えた啓発活動がおこなえました。</p> <p>3月末で93基の補助金交付決定を行っており、その内91基の完了検査を行いました。(うち2件取下げ)</p> <p>河川の水質保全の向上を図りました。</p> <p>H30年度実績 91 基</p>